

文芸書



クララとお日さま
カズオ・イシグロ/著
人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョージと出会い、やがて2人は友情を育んでいく。愛とは？知性とは？家族とは？生きることの意味を問う感動作。ノーベル賞受賞後初作品！

- | | |
|----------------------|-------|
| テスカトリポカ | 佐藤 究 |
| 灰の劇場 | 恩田 陸 |
| ヴィンテージガール 仕立屋探偵桐ヶ谷京介 | 川瀬七緒 |
| ジャックポット | 筒井康隆 |
| ほたるいしマジカルランド | 寺地はるな |
| それでも、陽は昇る | 真山 仁 |
| わんだフル・デイズ | 横関 大 |
| 十津川警部疑惑の旅路 | 西村京太郎 |
| トラベル・ミステリー傑作集 | 岩井三四二 |
| あるじは信長(大活字本シリーズ) 上・下 | 貫井徳郎 |
| 悪の芽 | 桜木紫乃 |
| 俺と師匠とブルーボーイとストリッパー | 山本一力 |
| 湯どうぶ牡丹雪 長兵衛天眼帳 | 彩瀬まる |
| 草原のサーカス | 山田詠美 |
| 血も涙もある | 垣谷美雨 |
| 代理母、はじめました | 堂 冬樹 |
| 168時間の奇跡 | 畠中 恵 |
| いわいごと(「まんまこと」シリーズ 8) | 椎名 誠 |
| 階層樹海 | 佐々木譲 |
| 帝国の弔砲 | 新川帆立 |
| 元彼の遺言状 | 高田 郁 |
| あきない世傳金と銀 合流篇 | 知念実希人 |
| 傷痕のメッセージ | 古井由吉 |
| 杏子・妻隠(つまごみ)改版 | 高殿 円 |
| 上流階級 富久丸百貨店外商部 其の3 | 小野寺史宜 |
| ひと | 群ようこ |
| これで暮らす | 平岩弓枝 |
| 嘘かまことか | 林真理子 |
| Go To マリコ | 伊集院静 |
| 大人の流儀 ひとりをたのしむ 10 | 千早 茜 |
| しつこくわるい食べもの | |

一般書・児童書



半藤一利の昭和史
文藝春秋



科学絵本の世界100
平凡社



ファイターズオフィシャル
グラフィックス2020
北海道新聞社/編



にゃつぷる
昭文社



学びの本質の教科書
山内 宏泰/著



これからの男子たちへ
太田 啓子/著



ノラネコぐんだんと
金色の魔法使い
工藤 ノリコ/著



ももんちゃんどこへいくのかな？
とよたかずひこ/さく・え

上士幌町図書館ブログでも入荷情報をご案内しています。

<https://horonlibrary.blogspot.com/>



かみしほろ とほよかんたより



上士幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎2-4634

◆開館時間 10:00~18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)

◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月30日~1月5日)

上士幌町第2期子どもの読書推進計画策定

上士幌町教育委員会は今年3月、上士幌町第2期子どもの読書活動推進計画(令和3年度~7年度)を策定しました。当計画にもとづき、上士幌町の子どもの読書活動施策の充実に取り組んでいきます。
※当計画の冊子ご希望の方には、図書館で配布いたします

上士幌町民芸誌 火群 47号 原稿募集中

火群編集委員会では、来年3月発行予定の「火群」第47号の作品原稿を募集しています。あなたの作品が活字となり1冊の本として出版されます。多くの町民のみなさんからのご投稿をお待ちしています。

◎募集期間 令和3年4月1日~10月31日

詳細は、町民芸誌「火群」編集委員会事務局(☎2-4634)までお問い合わせ下さい。

※3月に発刊した第46号は、図書館で貸出・販売をしています。

ゴールデンウィークも

図書館をご利用ください



- 4月29日(木) 祝日特別開館
- 5月1日(土) 通常開館
- 5月2日(日) 通常開館
- 5月4日(火) 祝日特別開館
- 5月5日(水) 祝日特別開館

※開館時間は、通常通り午前10時から午後6時までです。

※休館日⇒4月30日(月末休館日)、5月3日(月曜休館日)

ようこそおはなしの世界へ

★お話し会

- ◆日時 5月8日(日) 10:30~
- ◆内容 お話し会「カッコウ」による絵本の読み聞かせ・紙芝居
- ◆定員 15名

★えほんのトビラ

- ◆日時 5月15日(日) 10:30~
- ◆内容 図書館職員による絵本の読み聞かせ
- ◆定員 15名

※参加する際の注意点

マスクの着用をお願いします。また、体調がすぐれない場合はご遠慮ください



※会場は両日とも図書館お話し会のお話の部屋です。

おすすめの1冊

黄金の60代

郷 ひろみ著



「今年(2015年)10月18日が来れば、僕は60歳を迎える。(中略)自分の人生における成功はまだ始まっておらず、ついに今年からその成功への60代が始まる」

こう語るのは、1972年に17歳で俳優・歌手デビューし、65歳になった現在も、絶大な人気を維持し、歌手として活躍を続ける郷ひろみ。成功の照準を60代に合わせ、そのための準備期間としてそれまでの時期を過ごしてきたといいます。そのユニークな人生の捉え方は、芸能人・郷ひろみという特別な存在を、不思議と身近な存在にします。

「人気歌手」という華やかさのイメージと裏腹に、現実の困難に直面し、悩み、迷い、葛藤しながらも、真正面から自分の人生と向き合ってきた。人間・郷ひろみの姿を見ることが出来るからです。

「人生において若くない時期を長く生きる」という彼の視点は、人生100年時代の現代ならではの発想ですが、より有意義な人生を送るヒントが隠れているような気がします。

人気芸能人のイメージをいい意味で裏切りつつ、素朴に語るまじめな人生論は、説得力があります。